

## 五感の学校@広尾 ～脳のアソビバ!～

各界の第一人者による オトナの知的好奇心を満たす  
講演、ミニ演奏、懇親会 五感のゼイタクを一緒にどうぞ!



### 第28回《日本の感性》

# 「常磐津(ときわす)三味線から知る 豊かな音の世界」

講師 **前原恵美**(日本民俗芸能研究家)

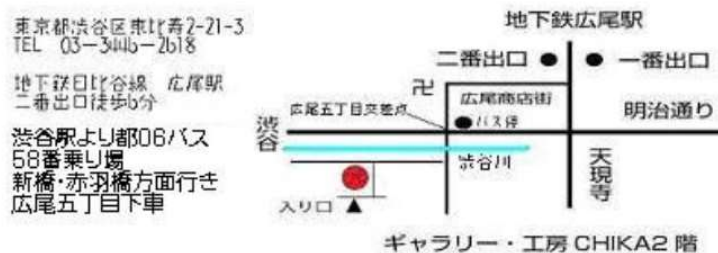
2021年12月19日(日)14:00～16:00



日本の楽器を知れば知るほど、繊細で豊かな世界が広がります。  
どうしてこんな材料を使ってこんな形にできているのか、  
日本人の感性と知見と技の詰まった三味線を、分解して紐解いていきま  
す。  
そして「声」の表現が大好きな民族・日本人の音楽の一端を、  
「常磐津節」を通して体感してみましょう。  
きっと、思っていたより自然に入り込める世界が、  
そこにあると思います。 (講師メッセージ)

- 参加費：¥2,000(1ドリンク、ツマミ菓子)
- 申込：MuCuL (ミュウカル) ※準備の都合上必ず事前のお申込みをお願いします。  
E-mail: e-mucul@e-mucul.com http://www.e-mucul.com Tel03-3446-2618  
★定員20名とさせていただきますので、早めのお申し込みをお待ちしています。
- 会場：150-0013 東京都渋谷区恵比寿2-21-3 MuCuL Tel03-3446-26  
★アクセス：地図または、上記MuCuLのHP参照ください。  
会場は隠れ家的場所にあります。わからない場合はどうぞお電話ください。

《MuCuL 地図》



※恵比寿駅からのアクセスは、上記ミュージカルHPをごらんください。

■ **講師プロフィール** **前原恵美**（まえはら めぐみ）芸名：常磐津志穂

東京藝術大学後期博士課程（音楽学専攻）単位取得満期退学。有明教育芸術短期大学芸術教養学科教授を経て、平成28年より独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 無形文化遺産部 無形文化財研究室主任研究員、平成29年より同無形文化財研究室長となり現在に至る。

平成3年より五世常磐津文字兵衛に常磐津三味線を師事、常磐津紫緒の名を許される。

伝統芸能や、芸能を支える楽器等の製作技術の調査研究を行う傍ら、常磐津節の演奏活動を続ける。

単著：『常磐津林中の音楽活動の軌跡—盛岡市先人記念館所蔵林中本を手掛かりに』（有明双書、武久出版、2013年）

共著：「江戸祭礼と歌舞伎をめぐる三味線音楽演奏者の動向—常磐津節を中心に—」（『神田明神論集1』、神田神社、2017年）「新型コロナウイルス禍と伝統芸能と保存技術」（『Lost in Pandemic — 一失われた演劇と新たな表現の地平』、監修：早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、編：後藤隆基、2021年）

■ **司会進行**：森 正樹

フリーの編集者、(株)ITSC/静岡学術出版顧問、Art Gallery 884 アドヴァイザー。元NPO e-コミュニケーション・コンソーシアム理事・事務局長、前静岡大学客員教授、元オーム社代表取締役専務。

■ **主宰・演奏**：佐藤慶子

（作曲家、ピアニスト、ヴォイスアーティスト、ヴォイス講師、映画プロデューサーMuCu代表）

《五感の音楽》というコンセプトで幅広い音楽活動を展開。並行してオリジナル万葉弾き語りコンサートをシリーズで開催。また声の持つ様々な力に着目した《声ちから》ヴォイスメソッドを考案、カルチャーセンター、自治体等で指導。受賞：日本文化芸術財団賞、日本絵本賞他 著書：「五感の音楽」「しあわせを呼ぶ声の魔法」他 CD「万葉言の葉」「アイ・ラヴ・ピース」映画プロデュース&音楽「アイ・ラヴ・ピース」。

■ **アドバイザー**：森正樹 白井支朗 湯川敬弘 大岩元 飯田吉秋 竹林洋一

■ **山中修** ■ **事務局**：佐藤直陽 ■ **主宰**：佐藤慶子 ■ **主催**：MuCuL

お知らせ

●《五感の学校@広尾》では、みなさまのご希望の講座、講師の方々を募集しています。

メールにてお気軽にどうぞ相談ください。お待ちしております。

★ 特定の政治運動、宗教勧誘などの活動についてはお断りしております。ご了承ください。

●《五感の学校@ワークショップ》のご案内

「《声ちから》声のレッスン」「役者のための声のワークショップ」「歌クラブ」など

詳細はお問い合わせください。

**《五感の学校@広尾》とは**

脳を柔軟かつゆたかに育むことは、人生の再発見につながります。“五感”を中心としたサイエンス（理学・工学・医学）から、音楽・美術・文学・映画などの幅広い分野まで興味ある話題を採り上げ、レクチャー、ワークショップや討論をもとに、アインシュタインが「音楽で物事を考える」といったとおり音楽演奏を交えて、コミュニケーションを高揚させる場を提供します。

★感染症対策を施して実施いたします。マスク着用、手指消毒、検温にご協力をお願いします。